

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

堀川小	学校	児童数	139
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.97	20.02	35.05	38.42	58.11	9.44	156.08	20.29	53.29
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.74	18.75	38.39	34.93	45.34	9.91	141.93	11.42	53.27
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子は、全国平均に比べて5種目（上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び）と体力合計点、大阪市平均に比べて6種目（上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び）と体力合計点が上回った。

女子は、全国平均に比べて2種目（上体起こし・20mシャトルラン）、大阪市平均に比べて4種目（上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン・立ち幅跳び）と体力合計点が上回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男子が98.4%で全国平均より5.5%高く、大阪市平均より5.8%高かった。女子は83.8%で大阪市平均より0.3%高く、全国平均より1.9%低かった。

「1週間の総運動時間が60分未満の子ども」は、男子が7.6%で全国平均より1.4%低く、大阪市平均より2.9%低かった。女子は16.2%で全国平均と同じで、大阪市平均より2.1%低かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで体育科において「自分の動きを言語化し、体現化につなげる」ことを研究してきた。教えることと気づかせることを明確にし、運動の技術について「教え」、動きのこつやチームの作戦には「気づかせる」指導法を工夫するとともに、運動量を確保することにも重点を置いて取り組んだ。また、授業の中で音楽を積極的に活用することで、楽しみながら運動に向かう児童が多くみられた。トップアスリート「夢・授業」では、区役所とも連携をしてオリンピックのメダリストを講師として招き、運動への興味関心を高めるとともに、夢をもつことの大切さを学んだ。取り組みの結果、男子96.9%、女子88.3%が「体育の授業は楽しい」と回答した。

今後も児童数が多く、限られた場という課題はあるが、場所や時間の使い方を工夫し、運動の機会を確保できるようにしていく。

今回の結果から見えてきた課題をしっかりと分析し、児童が自ら楽しく運動に向かうことができるように日々の授業改善を図っていく。また、授業以外の時間でも「楽しみ」ながら「継続」して運動に向かうことができる環境を作り、全校で取り組みを進めていきたい。